

学校と地域の交流を促進するために

「わくわくふれあいフェスタ in 宮原小」では、地域の人を講師として招き、地域の「自然」、「伝統」、「文化」、「食」、「歴史」、「共に生きる」の6つのテーマから9つのコースを作り、親子で体験活動を行いました。宮原小CSが主体となって、PTAの委員の皆さんと連携しながら活動内容を考えたり準備をしたり、当日は委員自らが講師を務めたり、進行をするなど、運営に深く関わりました。



また、宮原小CSでは、地域の一大行事である「三神宮秋季例大祭」を迎えるにあたり、「子どもたちを『お客さん』にしない取り組み」、「地域に参画するための工夫」について熟議を行っています。

そして、「例大祭に子どもたちが参画する目的・意義」を確認し、子ども（高学年）向けに「祭りを伝承する意義と祭りかける思いについて」、大人（子ども会会長）向けに「子どもたちの育ちを支える祭りへの参画について」と題した講話を実施し、参画意識を高めました。その効果もあり、各地区では子どもたちが主体となって準備・練習に取り組み、これまで以上に盛り上がりが見られました。



「好きです宮原!」の心情を育むCS活動

宮原小CSが主体となり、児童・教職員・保護者・地域をつなぐ取り組みを実施することで、「地域とともにある学校づくり」、「将来の地域の担い手を育む学校づくり」が着実に進んでいます。

また、「好きです宮原!」を合い言葉に、「地域を大切に作る心」、「地域の一員として協力する態度」、が宮原小の児童に育まれています。これからも地域の皆さんのお声掛けをよろしくお願ひします。



宮原小では、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざしてコミュニティ・スクールの取り組みを推進しています。学校運営協議会を設置し、学校運営にいろいろなお意見をいただきながら、地域の皆さまや保護者の皆さまと力を合わせて、子どもたちの豊かな心の育成や学力の向上に取り組んでいます。

宮原小学校におけるコミュニティ・スクール(宮原小CS)の取り組み

宮原小CSの取り組みの方針

宮原小CSでは、学校と地域住民が連携・協働して、学校教育目標「自ら考え、正しく判断し生き生きと学ぶ、宮っ子の育成」の具現化のために、以下のことに取り組んでいます。

- ①子どものよさを認め、ほめ、励まし、地域の一員として活躍する体験をさせる
- ②将来を担う人材育成を主眼に、子どもも大人も共に学び育ち合う活動に取り組む
- ③学校を核として、『宮原のよさ(自然・食・文化・伝統・歴史・共生)』を学び、「愛校心」や「郷土愛」を醸成するとともに、それを基盤として自分を見つめさせ自信を持たせる

子どもたちの豊かな心と望ましい生活習慣づくりのために

子どもたちの規範意識を育て、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てるために、あいさつ運動一斉行動の日(毎月15日の朝)に、地域の皆さまや保護者が通学路に立って子どもたちとあいさつや言葉を交わしています。新しい正門で、「校門一礼」にも取り組んでいます。



子どもたち1人ひとりの学力を保障するために、CS委員や読み聞かせボランティアの皆さんが学習支援を行う「輝塾」を、毎週木曜日に八火図書館で行いました。また、PTAと連携し、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣の習得を目指す「ノーテレビ・ノーメディアデー」に取り組みました。これは、保護者による朝の校門でのあいさつ運動の際に、児童は自分が挑戦するコースをタブレットで選んで宣言します。その翌日は、テレビやゲームではなく学習や読書、家族との会話などをして1日を過ごすことで、望ましい生活習慣づくりや家族の団らんのきっかけづくりをしています。

